

9

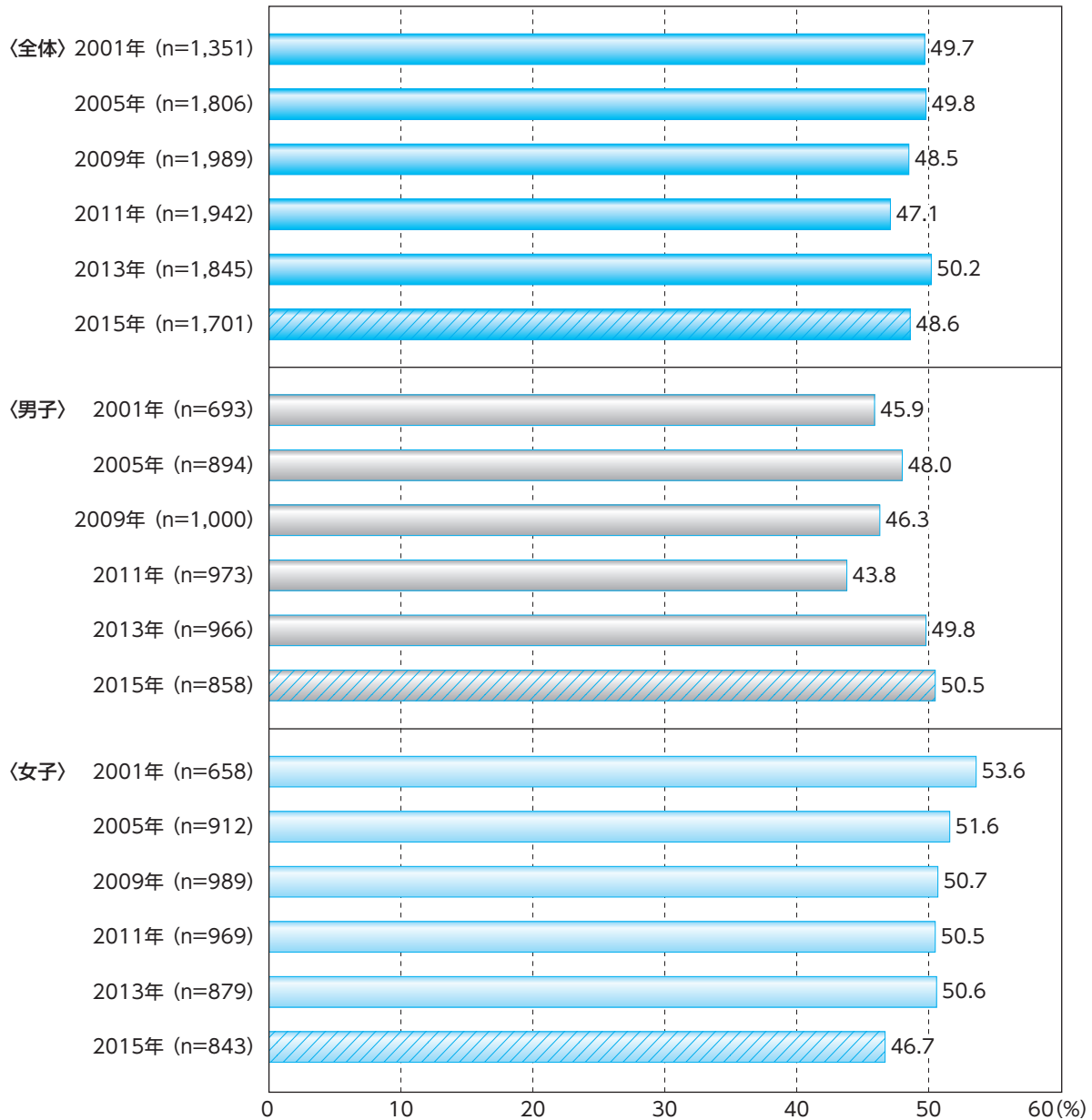
習いごと

9-1 習いごとの実施状況

習いごとの実施状況をたずねたところ、現在習いごとを実施している者は全体の48.6%であり、過去最高であった2013年調査の50.2%から1.6ポイント減少した(図9-1)。

性別にみると、男子が50.5%、女子が46.7%であり、2001年の調査開始以来、初めて男子の習いごと実施率が女子の実施率を上回った。

性別・学校期別にみると、男女ともに学校期が進むに



【図9-1】 習いごと実施率の年次推移(全体・性別)

資料：笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2015

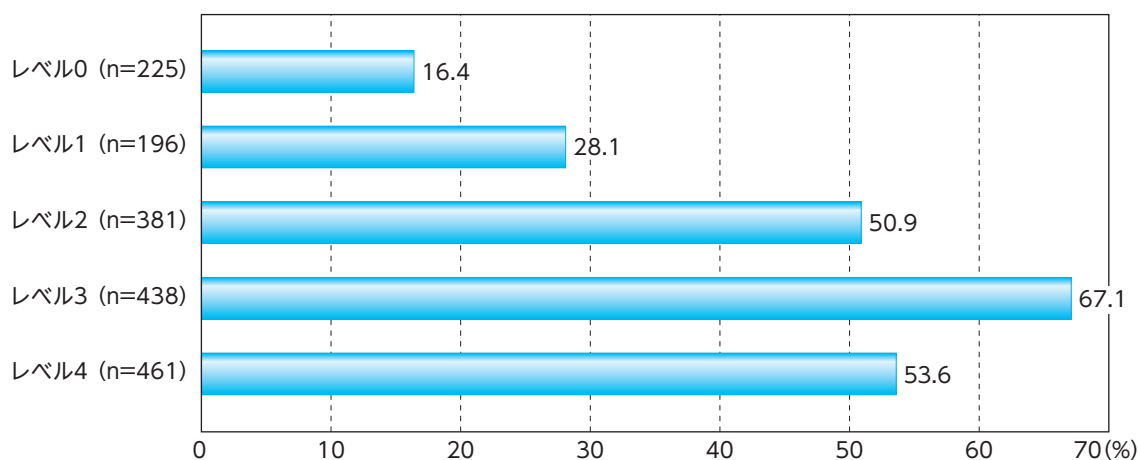
つれて習いごとをしている割合は低くなっており、この傾向は調査を開始した2001年から変わっていない(表9-1)。また、過去の調査と比較すると、男女ともに小学校期での習いごと実施率は増加の傾向がみられる。

運動・スポーツ実施レベル別にみると「レベル0」16.4%、「レベル1」28.1%、「レベル2」50.9%、「レベル3」67.1%、「レベル4」53.6%となり、「レベル2」以上では習いごとをしている者が半数以上を占める(図9-2)。

【表9-1】 習いごと実施率の年次推移(性別×学校期別)

2011年			2013年			2015年		
性別	学校期	%	性別	学校期	%	性別	学校期	%
男子	小学校期(n=191)	73.3	男子	小学校期(n=218)	83.5	男子	小学校期(n=157)	84.1
	中学校期(n=291)	68.0		中学校期(n=309)	66.3		中学校期(n=280)	64.3
	高校期(n=313)	24.0		高校期(n=281)	29.2		高校期(n=272)	36.0
	大学期(n=118)	7.6		大学期(n=87)	6.9		大学期(n=91)	16.5
	勤労者(n=45)	2.2		勤労者(n=52)	3.8		勤労者(n=40)	15.0
女子	小学校期(n=180)	82.2	女子	小学校期(n=171)	80.7	女子	小学校期(n=154)	85.1
	中学校期(n=299)	67.2		中学校期(n=277)	72.9		中学校期(n=233)	63.5
	高校期(n=321)	36.4		高校期(n=276)	29.7		高校期(n=256)	30.9
	大学期(n=118)	13.6		大学期(n=112)	17.0		大学期(n=133)	20.3
	勤労者(n=38)	10.5		勤労者(n=34)	0.0		勤労者(n=50)	12.0

資料：笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2015



【図9-2】 習いごと実施率(レベル別)

資料：笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2015

9-2 習いごとの内容

習いごとの内容は、全体では「学習塾」が18.2%と最も多く、次いで「ピアノ」9.2%、「英会話」7.1%、「水泳(スイミング)」6.8%、「サッカー」6.3%であった(表9-2)。スポーツ系の習いごとは「水泳(スイミング)」6.8%、「サッカー」6.3%、「野球」3.9%が上位となる。

性別にみると、男子は「学習塾」が18.6%と最も高く、次いで「サッカー」12.0%、「水泳(スイミング)」7.7%、「野球」7.1%とスポーツ系の習いごとが続く。女子は「学習塾」17.8%が最も高く、次いで「ピアノ」15.1%、「英会話」

8.8%、「習字」8.1%とスポーツ系以外の習いごと上位を占めている。

また、男子では2009年調査は「サッカー」6.0%、「野球」6.2%と「野球」の割合がわずかながら高かったが、2011年調査では「サッカー」6.6%、「野球」6.0%と逆転した。2013年調査では「サッカー」7.3%、「野球」4.1%となり、両者の差は3.2ポイント、今回調査では4.9ポイント差と、2013年以降サッカーと野球の割合に差が広がっている。

【表9-2】 習いごとの内容(全体・性別・学校期別:複数回答)

(%)

順位	種目	全体 (n=1,701)	男子 (n=858)	女子 (n=843)	小学校期 (n=311)	中学校期 (n=513)	高校期 (n=528)	大学期 (n=224)	勤労者 (n=90)
1	学習塾	18.2	18.6	17.8	23.2	31.2	12.5	3.1	3.3
2	ピアノ	9.2	3.4	15.1	19.3	10.1	5.1	6.3	3.3
3	英会話	7.1	5.4	8.8	15.4	8.2	4.4	3.1	0.0
4	水泳(スイミング)	6.8	7.7	5.8	18.3	6.8	2.8	1.8	2.2
5	サッカー	6.3	12.0	0.5	16.1	6.8	2.8	2.2	2.2
6	習字	5.9	3.7	8.1	13.2	7.0	2.1	4.5	2.2
7	野球	3.9	7.1	0.6	6.1	6.2	2.1	1.8	0.0
8	バスケットボール	2.8	3.1	2.5	4.8	3.5	1.9	0.9	2.2
9	そろばん	2.6	2.2	3.1	8.4	2.5	0.6	0.4	2.2
10	空手	2.2	3.1	1.3	5.8	2.5	1.1	0.0	0.0
	テニス	2.2	2.6	1.8	5.5	2.5	1.1	0.4	0.0
12	陸上競技	1.8	2.1	1.4	3.2	2.3	1.3	0.0	1.1
13	剣道	1.6	1.9	1.4	0.6	2.5	2.1	0.9	0.0
14	バレーボール	1.4	0.7	2.0	1.3	1.6	1.1	1.3	2.2
15	絵画	1.1	1.5	0.6	1.9	1.6	0.6	0.4	0.0
	ダンス	1.1	0.3	1.8	2.3	1.2	0.8	0.0	1.1
	バレエ	1.1	0.0	2.3	2.3	1.4	0.8	0.4	0.0
18	体操	0.8	0.8	0.7	2.3	0.8	0.0	0.4	1.1
	バドミントン	0.8	0.6	1.1	1.0	0.8	1.3	0.0	0.0
20	柔道	0.5	0.7	0.2	1.0	0.4	0.4	0.4	0.0
	卓球	0.5	0.6	0.5	1.0	0.8	0.0	0.9	0.0
	習いごととはしていない	51.4	49.5	53.3	15.4	36.1	66.5	81.3	86.7

注) はスポーツ系の習いごと

資料: 笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2015

学校期別にみると、小学校期から高校期まで「学習塾」が23.2%、31.2%、12.5%と最も高い。小学校期では「学習塾」のほか「ピアノ」19.3%、「水泳（スイミング）」18.3%、「サッカー」16.1%、「英会話」15.4%、「習字」13.2%と上位6つが10%を超えている。しかし、中学校

期になると10%を超える習いごとは「学習塾」31.2%と「ピアノ」10.1%のみとなり、「学習塾」が突出している。スポーツ系の習いごとである「水泳（スイミング）」や「サッカー」はいずれも6.8%と、小学校期から中学校期にかけて実施率は10ポイント近く低くなっている。

9-3 種目別にみた習いごとを始めた年齢

実施率が高い習いごとと上位10種目について、その種目を開始した平均年齢を算出した。

最も開始年齢が低かった習いごとは「ピアノ」5.9歳であり、次いで「水泳（スイミング）」6.5歳、「空手」7.2歳、「習字」と「そろばん」が7.7歳と続いた（表9-3）。スポー

ツ系の習いごとをみると「水泳（スイミング）」「空手」に続き「サッカー」7.9歳、「野球」8.3歳、「バスケットボール」9.9歳となった。球技系のスポーツでは「サッカー」が最も低い年齢から習い始める種目となる。

【表9-3】種目別にみた習いごとを始めた年齢（複数回答）

順位	種目	平均年齢（歳）
1	ピアノ	5.9
2	水泳（スイミング）	6.5
3	空手	7.2
4	習字	7.7
	そろばん	7.7
6	サッカー	7.9
7	英会話	8.3
	野球	8.3
9	バスケットボール	9.9
10	学習塾	10.7

注) はスポーツ系の習いごと

資料：笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2015